



飯田城桜丸御門（赤門）を開門します!!

南信州地域の皆さんに「飯田城桜丸御門（通称：赤門）」の歴史や文化を知ってもらい、地域の魅力を再認識するきっかけにしようと、「桜丸御殿址のヒガンザクラ」（夫婦桜）の開花時期に合わせて赤門を開門します。

なお、「赤門開門式」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を見合わせることにしました。

開門期間

令和4年 3月25日（金）～4月25日（月）

飯田城桜丸御門（赤門）

赤門は江戸時代宝暦4年（西暦1754年）に上棟された建物で、明治維新の廃藩により、飯田城の建造物が取り払われたなかでこの門だけが郡役所の門として残されました。

現在では、当時の姿のまま形を残す唯一の遺構となっています。



桜丸御殿址のヒガンザクラ（夫婦桜）

県飯田合同庁舎の敷地内にある名桜。

2本の桜が合体していることから、「夫婦桜」と呼ばれています。樹高20m、根回り10m、樹齢は400年と推定されます。桜丸の名をしのばせる古木です。

飯田市美術博物館の「安富桜」（エドヒガン）とともにご覧ください。



この取組は、しあわせ信州創造プラン 2.0「南信州地域計画」の地域重点政策「豊かな自然・文化と共生し、人と地域が輝く南信州」に基づくものです。

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

南信州地域振興局 総務管理課 総務係
(課長) 山下 武喜 (担当) 宮崎 篤
電話 0265-53-0400 (直通)
FAX 0265-53-0404
E-mail minamichi-somu@pref.nagano.lg.jp